

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋

フクロウが3羽とも巣立って、ほっとしたのもつかの間、今度は別の巣箱にシジュウカラが営巣を開始しました。北軽井沢のシジュウカラは、例年4月下旬から5月中旬頃に営巣を開始するのですが、今回は6月中旬と、非常に遅いスタートです。

理由としては、天敵であるフクロウが去るのを待っていた、春の気温が低く、子育てに必要な昆虫の幼虫が少なかった、などが考えられます。

今回の動画は初卵（1個目の産卵）の一瞬です。シジュウカラは大抵早朝4時から5時にかけて、毎朝1個ずつ卵を産み続けて、5～8個の卵を産みます。孵化後はヘビの来襲が心配なのですが、この巣箱は遠隔操作で巣箱口を開閉できるので、安心です。今回もたくさんの雛が巣立つと嬉しいです。

